

ポリオプラスソサエティーの現状等



国際ロータリー第2820地区
ロータリー財団委員会
関 康彦(水戸RC)

「ポリオ」という病気

きゅうせいかいはくずいえん

1. ポリオ（急性灰白髄炎）は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子ども（約90%）ですが、成人でも感染しうります。
2. 日本では『小児まひ』と呼ばれ1960年には患者5000人、1981年以降は予防接種により感染者はいません。
3. 神経細胞が破壊された場合、重篤な後遺症（骨格の変形、関節の拘縮、運動障害）を生じることもあり、呼吸筋の麻痺で死に至ることもあります。
4. 特異的な治療法は無く、ワクチンのみが予防法、他の多くの疾病と異なり「人から人にしか感染しない為、ポリオは根絶可能」なウイルスです。

ポリオプラスとは

ポリオワクチンと併せ、ハシカ、ジフテリア、結核、破傷風、百日咳など予防も同時にを行うことから『プラス』

公衆衛生が予防の上で大切、現地では汚水が流入する水源を生活用水とし利用しています。恒久的に利用できる井戸の整備なども行っています。

ロータリーでは根絶の認定が達成されるまで、**国際ロータリーのすべてのプログラムの中で最優される第一目標**です。

最終的に根絶が証明されるまで、ロータリアンが、常に最新情報を把握し、活動に関与していくことが大切です。

ポリオの現状1

- ・インドで根絶できた
政府が本気なった

2014年3月27日WHO根絶宣言

運営レベルでの適切な行政活動につながる
技術支援を提供できる効果的なシステムがあった
タイムリーな是正措置の指針となる
インフルエンサーの活躍
集団的な行動につながりました



ポリオの現状2

インドで根絶できたことをパキスタン・アフガニスタンで行っています

しかし、宗教上の理由や戦争や情勢不安な国はワクチンに対する根強い不信感があり予防活動はとても難しい

パキスタンでは、イスラム過激派組織などが、SNSで「ワクチンの接種は、イスラム教徒を不妊にするための西側諸国の陰謀である」などの誤った情報を流し、人々に大きな影響を与えています

ポリオの現状

1988年以来、全世界のポリオの症例は99.9%減少しています。現在もポリオが常在する国は、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみとなっています。

アフガニスタン

9

野生型ポリオウイルスによる
発症件数

2024年:25

2023年: 06

2022年:02

2021年:04

パキスタン

30

野生型ポリオウイルスによる
発症件数

2024年:74

2023年: 06

2022年:20

2021年:01

※根絶直前は僻地に入る為感染者増加する傾向にあります。

(2025年9月19日現在)

全画面表示を終了するには Esc を押します

SPOT
LIGHT特効薬のない感染症 ポリオ
パキスタンで急増の背景は

NHKプラス 過去1週間分を配信中

アフガニスタン

21

カイバル・パクトゥンクワ州

パキスタン

1

イスラマバード首都圏

16年ぶりに感染確認

27

パロチスタン州

21

シンド州

パンジャブ州

2022年パキスタン史上最悪の洪水
治安悪化で人々が移動しウイルス拡散

最新情報

最新情報はこちらから↓

#エンドポリオ



ロータリーと共に ポリオをなくそう

ポリオは根絶できる。みんなの力があれば。

ポリオとは

POLIO GLOBAL ERADICATION INITIATIVE

WHO We Are About Polio What We Do Donate

Data as of 24 11 2025

Global Wild AFP cases and environmental samples 2018-2025

WHO発表資料

World Health Organization

Source Period	Wild virus type 1 confirmed cases								Date of most recent virus	Wild virus type 1 reported from other sources ²									
	Year	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		2025	01-Jan - 25-Nov ¹	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
Afghanistan	21	29	56	4	2	6	25	25	9	03-Oct-2025	86	66	43	1	22	62	124	111	64
Pakistan	12	147	84	1	20	6	74	66	30	19-Sep-2025	139	391	438	65	41	127	648	564	575
Germany																			1
Islamic Republic of Iran																			3
Malawi					1														19-Nov-2021
Mozambique							8												10-Aug-2022
TOTAL (TYPE 1)	33	176	140	6	30	12	99	91	39		225	460	481	66	63	189	772	675	640
Tot. in endemic countries	33	176	140	5	22	12	99				225	457	481	66	63	189	772		
Tot. in non-end countries																			3
No. of countries (infected)	2	2	2	3	3	2	2				2	3	2	2	2	2	2	2	
No. of countries (endemic)	2	2	2	2	2	2	2				2	2	2	2	2	2	2	2	
Total Female	18	72	59	2	10	4	43				2	3				1	2		
Total Male	15	104	81	4	20	8	56				8						5		

Countries in yellow are endemic.

¹Data reported to WHO HQ on week 48 2025

²Wild viruses from environmental samples, selected contacts, healthy children and other sources

お金の話

予防接種にかかる費用について

日本では、不活化ポリオワクチン(IPV)の接種費用は
1回あたり 5,450円 です。

2024年に生まれた 68万人の子どもが4回接種することがルールのため、日本だけで **毎年およそ150億円** の費用が必要になります。

しかし、世界が協力してポリオを根絶できれば、これまで予防に使っていた費用を別の重要な取り組みに回すことができます。

ポリオに関する事実

((⑪)) -

01

ポリオに最も感染しやすいのは5
歳未満の子ども

02

治療法はないが、ワクチンで予防
が可能

03

野生型ポリオウイルスの常在国は
わずか2カ国

04

1988年以来、発症数は99.9%減少

05

ポリオを永久になくさない限り、感染リスクは全世
界の子どもに

ポリオ根絶の達成に向けて ポリオプラス・ソサエティ(PPS)

ご存じの通り国際ロータリーの最優先事項は「ポリオの根絶」です。GPEI(世界ポリオ根絶推進活動)では、2026年を根絶目標年としており、根絶までもう少しというところまでまいりました。

然しながら、自然災害、政治紛争などの厳しい状況下で根絶資金の確保は今まで以上に大切になっております。

ポリオ根絶までの活動資金の安定と増加にご協力いただくために、多くの方々にご参加をお願いします。



END POLIO NOW

ポリオプラス・ソサエティ (PPS)の始まり

ポリオプラス・ソサエティの始まりは2016年にアメリカオレゴン州のロータリークラブの考案によるものでした。このプログラムを始めると間もなく他の地区でもPPSプログラムの導入を始めました。その後、世界の各地区でこの活動に広がってます。

当地区でも昨年より会員の募集を始めたところであります。

**PolioPlus
SOCIETY**

ポリオプラス・ソサエティ (PPS)とは

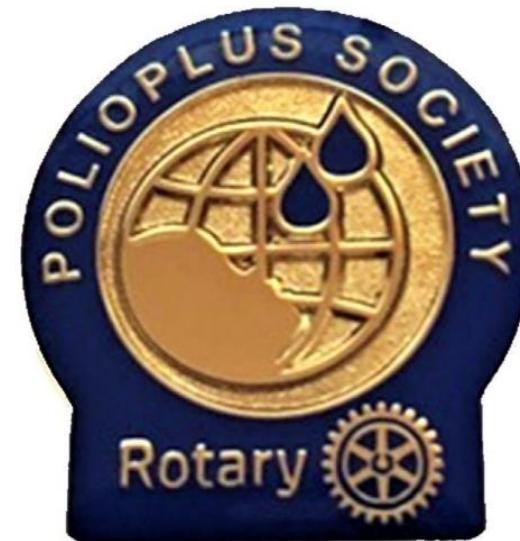
このプログラムは、あと少しとなったポリオ根絶までの活動資金の安定と増加にご協力いただくため、地区単位でポリオ根絶まで、

毎年100米ドルを「ポリオプラス」にご寄付いただくロータリー会員の参加・登録を進めるものです。



ポリオプラス・ソサエティ (PPS)会員について

- 寄付は、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、大口寄付者の認証の対象となります。
- 会員には、その貢献を称える襟ピンが贈呈されます。
- 会員には、認証状が贈呈されます。
(地区大会にて表彰)



2820地区内のPPS会員数 (2025年10月26日現在)

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第1	日立	5	0	5
	日立南	2	0	2
	北茨城	4	2	6
	高萩	4	0	4
	日立港	1	0	1
	日立北	1	0	1
	日立中央	1	0	1

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第3	水戸	5	0	5
	笠間	0	0	0
	水戸西	5	3	8
	水戸南	6	3	9
	友部	1	0	1
	水戸東	6	1	7
	水戸さくら	1	0	1
	水戸好文	1	1	2

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第5	下館	4	0	4
	結城	3	0	3
	真壁	0	0	0
	下妻	3	0	3
	しもだて紫水	2	2	4
	筑西きぬ	5	1	6

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第7	竜ヶ崎	1	0	1
	水海道	1	11	12
	取手	0	0	0
	牛久	1	0	1
	守谷	1	0	1
	竜ヶ崎中央	0	0	0

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第2	那珂湊	0	0	0
	常陸太田	1	0	1
	大子	0	0	0
	大洗	0	0	0
	勝田	1	0	1
	東海那珂	2	0	2
	ひたちなか	1	0	1

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第4	古河	1	0	1
	境	1	0	1
	岩井	0	0	0
	古河東	1	0	1
	古河中央	1	0	1
	茨城Eクラブ	2	0	2

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第6	石岡	0	0	0
第8	土浦	5	0	5
	土浦南	12	0	12
	つくば学園	1	9	10
	石岡87	0	0	0
	土浦中央	0	0	0
	つくばシティ	6	1	7
	阿見	0	0	0
	つくばサンライズ	2	0	2

合計 149 名

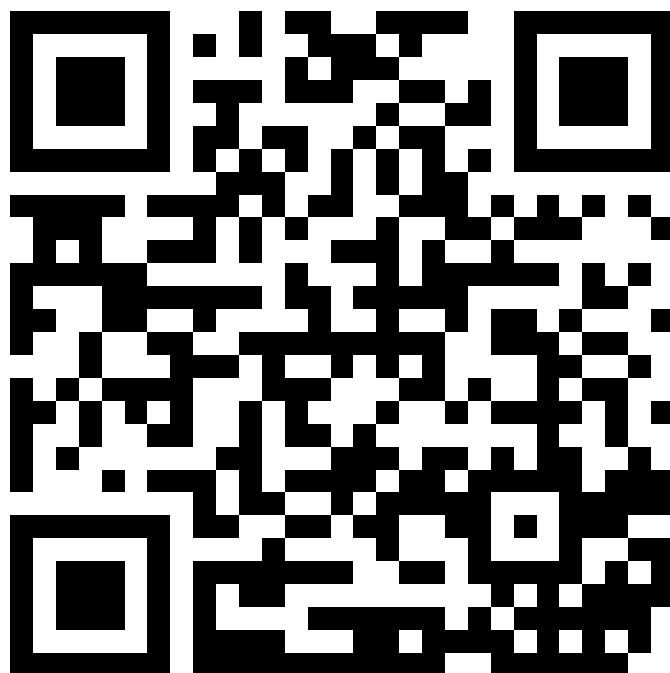


ポリオプラス・ソサエティ(PPS)の申し込み方法



ポリオ・プラス・ソサエティ にご入会ください

申込はこちらのQRより↓
(ガバナー事務所HP)



ロータリー財団では資金の88%が事業費に
費やされていることから表彰を受けております。

毎年100米ドルをロータリー財団の
「ポリオプラス基金」への寄付
(ポリオ根絶まで)

ロータリーの取り組み

1979年、ロータリーは、3-H（保健、飢餓の追放および人間性尊重）プロジェクトとしてフィリピンで600万人の子どもへの一斉予防接種を計画。費用70万ドル、5年間のプロジェクトを成功に収め、膨大な資金をかけた大規模かつ組織的な一斉予防接種が可能であることを世界に示しました。 そして

「ロータリーは、1985年に創設されたポリオプラスプログラムを通じて
“ポリオのない世界”というビジョンを初めて思い描きました」

1988年にはロータリーとパートナーが世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）をスタートさせました。

世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）パートナー

- **世界保健機関（WHO）「戦略担当」**

GPEIの実施と管理、各国保健省に技術面や運営面のサポートを提供。活動成果のモニタリング、戦略の立案。

- **米国疾病対策センター（CDC）「ウイルス対策担当」**

疫学者、公共保健専門家、科学者を起用してポリオ流行について調査。ウイルスの種類と感染源を特定。

- **UNICEF（国連児童基金）「予防接種担当」**

ワクチンの購入と分配。予防接種の効用に関する認識向上。UNICEFのフィールドワーカーは現地のヘルスワーカーやボランティアと共に予防接種を実施。

- **ロータリー「アドボカシー担当」**

会員の持つ事業と専門職、ボランティアのネットワークを生かし、ポリオの認識向上、募金、地域社会の動員、政府や民間への支援の働きかけ（アドボカシー）を実施。これまでに100万人以上の会員がボランティア活動や募金を通じてポリオ根絶を支援。

- **ビル&メリンダ・ゲイツ財団「リソース担当」**

民間団体としてポリオ根絶に最も多額を寄付。技術面でのリソースも提供。

ご清聴ありがとうございました

私の世代は、ポリオの悲惨さをこの目で見てきました。ポリオの撲滅があと少しで実現できると知ったとき、私もこの取り組みにぜひ参加したいと思いました。これほど壮大な目標を達成できる機会はめったにありません。

Angelique Kidjo, (シンガーソングライター)